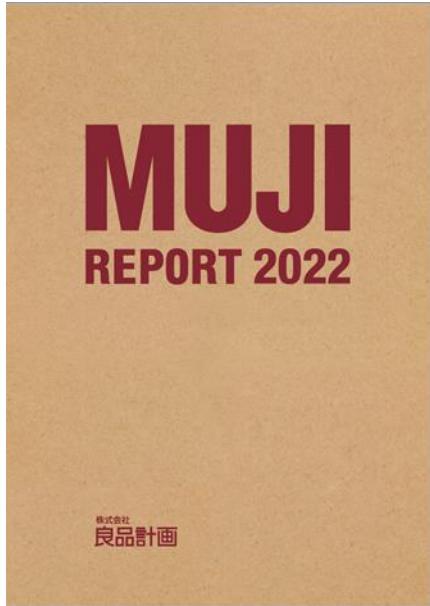


News Release

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3 電話03-3989-4410 <https://www.ryohin-keikaku.jp>

2023年3月16日

「MUJI REPORT 2022」を発行



無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都豊島区／代表取締役社長 堂前 宣夫）は、本日、良品計画グループ統合報告書「MUJI REPORT 2022」（全100ページ）を発行し、WEBサイト上に公開しました。

本レポートでは、100年後のより良い未来の実現に向けて「第二創業」を進める当社の、2030年までの道筋とその重点取り組みを、株主、投資家を含むすべてのステークホルダーの皆様に向けてご説明しています。中期経営計画（2022年8月期～2024年8月期）の進捗については、各事業責任者が課題と戦略を語り、ESG経営をより一層強化するための新体制についてもご紹介しています。

また、当社が経営理念として掲げている「公益人本主義経営」については、図解を用いてご説明することで、当社が目指す企業の形や当社が生み出す価値についてご理解いただけるように考慮しました。

当社は、本レポートを通じて、ステークホルダーの皆様に当社企業活動への理解を深めていただくとともに、ステークホルダーの皆様との対話を通じて、いただいたご意見や反響を企業活動に生かすことで、長期的な企業価値の向上を目指しています。

詳しくは当社WEBサイトのサステナビリティページをご参照ください。

〈MUJI REPORT2022 の主な内容〉

イントロダクション

無印良品誕生から42年間の歩みや、当社のものづくりの変遷、「数字で見る良品計画グループの今」、「グローバルネットワーク」をご紹介することで、当社概要を簡潔にご説明しています。

企業価値向上に向けて

当社が生み出す価値をプロセス図でご紹介します。

また、企業理念の実現に向けた「公益人本主義経営」については会長メッセージでご説明しています。



社長メッセージ

第二創業に対する思いと中期経営計画の進捗や重点取り組み、改革のポイントについて、社長メッセージでご説明しています。



「社会を良くするプラットフォーム」となることを目指して

堂前宣夫
行西蜀詩卷之三

良品計画が提供してきた価値

林昌新蔵は、「根に深い墨をした全くの素朴な筆風で、40年経て上にもひきだすが如きの墨あわせのハーバーで鑑賞していただき」。

社会環境の変化と危機意識

これらの内訳は、人の生産機能を制御するものとし、より「ラテラルな機能」の地政学リスクの要因化に、L-T、S-Tの活性化がその主たる特徴といつてよい。

一方で、この生産機能を活性化する地政学的要因は、既に多くの資源開拓地である、また長い歴史を有しているセイタキム、歴史の長いからって確実に上げてセイタキムが他の土地も、それが競争に劣る限り、資源開拓地の競争力は、資源開拓地の競争力である。

これが、日本の生産機能を競争力化するに際して、既存の資源開拓地を、あるいは他の生産機能を子孫のための基盤

個人レベルで達成感をもつて行動するための手助けをしてくれる、その私達、それがまた社会の資源でもあります。特に物事に多くの価値をもつもので、それをもつて行動する力は、非常に重要な問題です。

事業戦略

中期経営計画の2年目となる2023年8月期において、重点的に取り組む課題と解決の糸口となる事業戦略を、商品、店舗、グローバル、人財、IT の切り口から解説しています。

サステナビリティ戦略

ESG 経営をさらに加速させるために構築した
ESG 推進体制と、4つの重要課題に沿った各
種方針や取り組みについて記載しています。

〈擴充項目〉

- ・マテリアリティ（重要課題）
 - ・ESG 推進体制
 - ・気候変動対応（TCFD）
 - ・水資源/資源循環/生物多様性/化学物質管理方針等



掲載のお問い合わせ先 : 株式会社良品計画 広報・IR・ESG 推進部 rk-pr@muji.co.jp